

しもかわ財団の活動紹介

「つながぎ・ささえ・つくる」

■お問い合わせ

総務企画課企画調整係 ☎ 4-2511 内線232
しもかわ地域振興機構（通称…しもかわ財団） ☎ 4-3511

新たに着任した 地域おこし協力隊を紹介します

地域おこし協力隊は、都市から地方に移住し、その土地で様々な地域協力活動を行いながら定住・定着を図ることを目指した総務省の制度で、多くの自治体が活用しています。

これまでしもかわ財団では、移住定住促進を進める中で、地域おこし協力隊が卒業後も下川町に定住・定着へとつながるよう、活動報告会を開催するなど、広く町民の方々に活動内容を知ってもらい、応援してくださる方を増やしたり、つながりを作る取り組みを進めてきました。これからも地域おこし協力隊の活動を応援していきます。

今年度、新たに課題解決型地域おこし協力隊（※シモカワベアーズ）として、着任した菅沼亮輔さんをご紹介します。

※シモカワベアーズとは…

これまでの起業をメインとした取り組みだけではなく、今年度から町の課題解決をメインに、隊員のやりたいことや得意なこと、出来ることを組み合わせ、主体的に取り組む協力隊として進めています。

しもかわ財団 菅 沼 亮 輔



南米・ボリビアで入手したアルパカ製のオオカミの被り物が目印。

長崎県長崎市出身の菅沼亮輔です。

これまで国土交通省で政策づくりに関わり、インフラ整備や物流政策を進めてきました。しかし、次第に「地域の課題にもっと近い立場で関わりたい」と感じるようになり、今年4月に東京から下川町へ移住し、コモレビのしもかわ財団で地域おこし協力隊として活動を始めています。

北海道との接点は2年前で、転勤で旭川に住んでいたことがありました。週末には道内各地のお祭りに参加し、そこでは北海道の地域資源や文化に触れることができ、非常に楽しかったです。しかし、人口減少が進む中で、地

域の魅力が失われていくことに強い危機感を抱くようになり、また、ただその現状に悲観するのではなく、課題が進んでいる地域こそ、新たな地方創生のモデルを生み出せる場所だと感じています。この課題を解決すれば、北海道だけでなく、日本全体へ良い影響を与えられると思っています。

そのため、課題先進地である北海道、そして新しいことに挑戦する下川町を選びました。

現在、私は「地域課題の解決」と「行政改革推進」を活動の柱にしています。住民の皆さんが感じている小さな困りごとや不便な点に耳を傾け、少しずつ解決しています。また、町の行政職員が本来の業務に集中できるよう、業務効率化やDX導入支援にも取り組んでいます。プライベートも含めて、お気軽にお声がけいただけるとうれしいです。

活動内容については
こちらで発信中！



毎月1回開催！
誰でも参加できます

『タノシモ
カフェ』



- 開催日 6月6日（金）・7月12日（土）
- 時 間 18時半～20時半（申込不要・入退出自由）
- 場 所 コモレビエントランス
- 対象者 町民、移住者、移住検討者、帰省中の方、視察者、下川ファンなど
- 持ち物 食事一品、自分の飲み物、マイ食器

『しもかわ人名鑑 活動の輪編』の連載を始めます

『しもかわ人名鑑』では、移住後に趣味や仲間が広がったという声を多く伺ってきました。町内にはサークルやイベント実行委員会など多様な活動があり、地域のつながりを生み出しています。こうした取り組みに光を当てる新企画「しもかわ人名鑑 活動の輪編」をスタート。今回は、6月28日・29日に第10回を迎える「森ジャム」をご紹介します。**2025年度実行委員長・三浦玄太さん**にお話を伺いました。

「森ジャム」は「森のめぐみをみんなで楽しむ」というテーマで2014年から始まり、会場は「美桑ヶ丘」という森。去年は町内外の飲食店の出店に加え、夜にファッションショーとライブ演奏が行われました。

「森ジャム」には6つの大切にしたいことがあります。1つ目は「森をいかす」。「森のめぐみ」を活用し、森のある暮らしの楽しさ、大切さを提案する。2つ目は「ジャム」。「ろう！」。ジャムセッションのように人々が集まり交流して、新しいモノやコトを生み出すきっかけをつくる。3つ目は「できること」を持ち寄り、4つ目は「おいでよ、下川！」。5つ目は「チャレンジ」でまちを耕す。地域に関わる人や資源に光を当てて、チャレンジの場をつくることで、地域を耕していく。そして最後の6つ目は「地に足つけて」。

自助自立を基本とし、持続可能な運営体制を目指す。これらは、2016年の運営メンバーで決めたそうですが、開催10回を迎える2025年は、これらに改めて立ち返るためサブテーマを「おかえりとはじめまして」としました。

僕自身は2022年に初めて参加しましたが、森の中でお菓子や飲み物、手作りの雑貨を販売するイベントが、他の地域にもなかなか見ないスタイルだなと思いました。特に去年初開催したファッションショーは、企画の発案者はもちろんモデルも子どもたちや大人たちも町内在住、さらにお客さんとしてモデルたちの家族や親戚も町内外から集まり盛況でした。

今年は、より地域密着なイベントを目指し、やりたいことや特技がある人たちにとって仲間が見つかる場になりたいと思っています。夜のライブでは、演奏後に

プロのアーティストと一緒に酒を飲んだり歌ったり。チエンソーアーティストの木霊光さんによるクイックカービングショーも実施予定です。他にも、ここから出会える人たちも、たくさんいます。「森ジャム」にぜひ遊びに来てください！

※ジャムセッションとは、予め用意しておいた楽譜やアレンジにとらわれず、集まった演奏家たちが即興的に演奏をすること



しもかわ人 SHIMOKAWA-JIN 名鑑 MEIKAN 【活動の輪編】